

2023
Spring

春号

vol.252

AKATSUKI GAKUEN

暁学園報

四日市大学 / 四日市看護医療大学
暁高等学校(3年制) / 暁中学校・高等学校(6年制)
暁小学校 / 暁幼稚園



暁学園公式キャラクター
アルバちゃん



萱生キャンパスの新施設紹介

理事長メッセージ

「大学に進学予定の皆さんへ」

顧問・学長・校長・園長メッセージ

学園タイムトラベル

「5泊6日 夏の合宿セミナー 於 志賀高原」

教育振興未来みはるかす募金

学園の取り組みとトピックス

～人が集い、人が語らい、歴史を紡ぐ～

伊勢湾をみはるかすコミュニケーション空間、 萱生キャンパスに誕生！

萱生城址の高台にある萱生キャンパスに、人が集い、学び合う空間、人が憩い、語り合う空間、そして、学校の歴史や思い出を辿る新たな施設が誕生しました。

1月に竣工した学園施設「教育棟」と「法人本部棟」は、本学園が、創立の地である天カ須賀（現在の暁幼稚園所在地）から1965年に移転した際に建設した旧短大校舎と法人本部棟の老朽化に伴い、建替を行ったものです。卒業生をはじめ多くの方々、企業のご寄附も仰ぎ、学園創立75周年記念事業として実施しました。貴重なご支援に感謝すると共に、在校生は勿論、多くの卒業生、保護者、学園関係者の皆様が、四季折々の自然美と、伊勢湾の美しい眺望、人と人との語らいを楽しんでいただく、特別な空間としてご活用いただけるよう運用を図ってまいります。

教育棟



多目的ホール「オーロラ」

1階 多目的ホール「オーロラ」

収容人数：最大約100名
 使用目的：探究型授業、会議、講演会、
 説明会等

特徴

- ・伊勢湾岸を臨む南向きの屋外テラスに面した開放的な入り口
- ・天井高の全面ガラスからの自然採光で環境負荷に配慮
- ・周囲の自然とつながる、木々をイメージしたインテリアデザイン
- ・壁面全体がプロジェクタースクリーンに
- ・リラックス空間を演出する照明デザイン
- ・階段下の空間にも語らいの場を創出

〈 探究問題 〉

教育棟の多目的ホール名は、 なぜ「オーロラ」なのか？

一般に、「オーロラ」といえば、北極圏などで見られるあの発光現象が思い浮かびますが、そもそもなぜ、あれを「オーロラ」って呼ぶのでしょうか？

大ヒントは、私たちの学園です。気になる人は調べてください。今後、学園報や学園HPでも、その答え、多目的ホールを「オーロラ」と名付けた理由を掲載します。



教育棟の外観



礼法室「曉海(あけみ)の間」

2階

礼法室 「曉海(あけみ)の間」

収容人数：約40名

使用目的：家庭科授業、
茶道部、華道部など
文化部の部活動、
茶事、国際交流イベント、
学外者の接遇等

「曉海(あけみ)の間」の曉海とは

暁学園創立の原点である暁女子専門学校、その後身の暁学園短期大学の同窓会の名称、「暁海会(あけみかい)」に由来します。閉学した短大跡地に立つ教育棟。女子専門学校、短大の先輩方への母校愛の象徴「曉海」を語り、受け継いでいきましょう。

2階

創立記念ギャラリー

使用目的：学園史料・資料・写真の展示
および各種会合、
懇談、学外者接遇

特徴

- ・知多半島まで見渡す眺望抜群の南向きバルコニー
- ・周囲の自然に調和するインテリアカラー



創立記念ギャラリー

法人本部棟

宗村佐信初代理事長寄贈の五葉松と佐信先生の胸像を中心とするロータリーを拡張して確保した広いアプローチ。エントランスホールに大きな吹き抜けを有し、SDGsを意識した自然採光と間接照明。開放的な雰囲気でお来学者をお迎えます。



法人本部棟の外観

大学に進学予定の 皆さんへ

理事長

喜岡 渉

KIOKA Wataru



待望の授業がいざ始まると、高校までと違っていろんなことが変わることにより多少戸惑うかもしれませんが、高校のように決まった教室にずっといて受ける講義ではなく、基本的に学生が講義のある教室に移動します。共通教育棟と専門教育棟のキャンパスが離れている大学もありますが、その間の移動も結構、頻繁にあります。今のほとんどの大学では、1単位45時間という大学の単位制度の実質化、すなわち個々の科目について予習・復習時間を確保し、課題レポートや定期試験の準備に十分取り組むことができるように、各学期に履修できる単位数の上限を定めるCAP制を取り入れています。この単位の実質化の結果、時間割も曜日によっては空き時間帯があり、講義のない自由な時間が結構多いことに大学生を実感するかもわかりません。

このキャンパスでの空き時間こそが、高校までの学習とは異なる、大学での学びの本質ともいえる自発的・能動的学習のための時間として貴重なのです。学ぶ内容が高度になればなるほど、自分で考え、自分で調べ、自らが学ぶということが講義で得た知識をさらに深め

確かなものにするために非常に重要になってきます。自分では頑張れると思いつ有名大学に入学したけれど、周りの学生は皆、自分より秀才に思えて、今までの自分はミニチュア模型を相手に暴れていた怪獣に過ぎないと悩む人もいます。こうした悩みは、大学生活の中でいち早く主体的な学習者に変身することにより解決できるはずです。

入学後は1年次から専門教育が始まる大学がほとんどですが、それでも高校時代の科目数と比べると余裕があるはずです。時には専門から少し離れて、元々は自由人として生きるための学問を意味した「リベラル・アーツ」学群を積極的に選択し、いわば人間の幅、将来への道の幅を広げてください。私自身は、2年間どっぷりと教養キャンパスで過ごした時代に学び、その間に受けた専門科目は完全に忘れてしまいましたが、人文地理学、文化人類学、西洋史、西洋思想史、とりわけ社会学におけるゲマインシャフトとゲゼルシャフトは卒業後、その言葉に接したことすらありませんが、講義内容を今でも鮮明に覚えています。

授業改善を軸とした学校改革

—授業が変われば、学校が変わる!—

大学院で授業研究の理論を学びながら、8年間、東京都内の私立中・高一貫校で授業者(「脚本家」兼「演出家」兼「役者」)として実践的研究に励んだ後、30歳で大学に職を得てから現在に至るまで、小・中・高校教科書「保健(体育)」の執筆・編集や全国の教育委員会・研修センターで現職教育の講座を担当するとともに、自ら開発した「探究・協同」型の授業シナリオに基づいて子どもたちに授業をする経験(約3,000回)を重ねてきました(その成果は『保健授業づくり実践論』など4冊の単著として公刊)。

私が大切にしてきたのは、授業での学びを通して、子どもたちが瞳を輝かせ、「楽しかった!」「もっと知りたい!」という気持ちになってくれることでした。

授業が変われば、子どもたちは変わります。そのためには、教師が変わればよいのです。教師が変われば、学校が変わります。保護者や同窓生の学校への信頼も高まります。

なによりも子どもが、本学園で学ぶことの喜びと誇りを感じてくれるはずです。

子どもたちが「学び育ち合う」学校!教師が教育の専門家として「学び育ち合う」学校!さらには、保護者や同窓生が共に「学び育ち合う」学校づくりをめざして、授業改善を軸にした学校改革をすすめていくのです。

そのような学校は、まだ日本中のどこにもありません。しかし、不可能ではありません。本学園で長年にわたって研鑽を重ねてきた教師集団が、それぞれの持ち味を発揮し、それらを束ねることができれば、必ず実現できると私は確信しています。

私の役割は、いつも教師の傍らにあって、10年後、20年後の「AI」と共生する時代を子どもたちが「人間」として生き抜いていける“本物の学力”を育てるために、授業づくりのサポートをすることです。

授業が変われば、学校が変わります。本部「顧問室」でお待ちしています。

顧問

近藤 真庸

KONDO Masanobu

Profile

岡崎高校、東京教育大学、東京都立大学大学院博士課程(教育学専攻)等を経て、岐阜大学教育学部、及び地域科学部教授として35年間、教員養成にたずさわる。2020年より岐阜大学名誉教授。専門は、教育方法学・教育保健学。



コロナ禍を超えた君たちの、 人口減少社会での活躍を期待する！

四日市大学
学長

岩崎 恭典

IWASAKI Yasunori



皆さんの大学生生活の大半は、コロナ禍によって苛まれました。しかし、ようやく「withコロナの時代」を見通すことができるようになりました。それだけに、今後はコロナ禍の中で身に着けたノウハウを、それ以前に復しつつある生活の中で、どう活かすかが問われるはずです。

例えば、今やテレワークは普通のこととなり

ました。ネットを使ったZOOM会議も、こんなに一般的になるとは想像もできませんでした。皆さんはコロナ禍により加速化した、このような社会の変化を取り込みつつ、一方でこれまであまり経験する機会が少なかった対面による協議・交渉の場面に出会うことが増えていくでしょう。

そんな時、リアルとバーチャルの二面から、制限された大学生生活の中とはいえ、課題の発見と多様な解決手法・合意形成手法、さらには起業のノウハウを学んだ皆さんは、出産控え等によって減少のペースが早まった、人口減少社会しか知らない第一期生として、今後活躍できるはずですよ。

自らの道を切り拓いていく「人間たれ!!」

卒業、おめでとう。

次代医療現場の 開拓者になろう

四日市看護医療大学
学長

柴田 英治

SHIBATA Eiji



この4年間はコロナとの戦いに明け暮れた大学生生活でした。2020年1月からわが国で拡大が始まった感染は社会の仕組みを変える衝撃となりました。21世紀の前半の人類の危機が大学生生活を襲ったこととなります。これがなければ学生時代にしか出来ない活動

がもっと自由にできたと悔やむ気持ちもあることでしょう。現在も感染第8波による感染死亡者の増加など、まだ先の見通せない状況が続いています。

しかし、いつの時代も人類は次の時代を準備する活動をしてきました。感染の影響を受けた私たちは遠隔でのコミュニケーションを日常的に行うことを学び、次の時代の医療、健康を守る社会の仕組みなどを作ろうとしています。次代の医療者であるみなさんにはさらに進化した看護、医療のあり方を提案する仕事があります。

みなさんが医療者として成長する間、模索は続くことでしょう。自身の医療者としての成長はもちろん、医療現場の開拓者としての奮闘を期待します。四日市看護医療大学は卒業後も母校としてみなさんをサポートします。健闘を祈ります。

暁高校で得たものを 大切に

暁高等学校(3年制)
校長

小林 豊昌

KOBAYASHI Toyomasu



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
皆さんと共に過ごした3年間、それは常にコロナと隣り合わせの3年間でありました。

3年前、期待に胸を膨らませて高校に進学されたと思いますが、1年次にはすべての学校行事を、新型コロナウイルス感染防止のため中止せざるを得ませんでした。4月には入学式が実施できず、6月になってやっと入学許可式を行いました。2年次の沖縄研修旅行も、コロナ禍の隙

間を縫っての実施となりました。そして少しずつコロナに対する対策にも慣れてきて、3年次には、春の遠足も、夏のスポーツ大会も、秋の文化祭も、どうにか実施することができました。

コロナ禍の3年間は、学校行事が中止になったり、規模の縮小や様々な行動制限を強いられる3年間でしたが、新たな発見もありました。

すべての学校行事が中止となり日常生活にも行動制限が強いられた時、わたしたちはありふれた学校の行事やさり気ない学校での日常生活が、いかに大切であるかを実感しました。学校という空間で共に時を過ごすことの大切さを再認識しました。今思えば、皆さんとともに過ごした3年間は、校長として至福の時でありました。

皆さんはいよいよ卒業されますが、皆さんが暁高校で過ごした時間、暁高校で得たすべたものを大切にしてください。そして、新しいステージでの皆さんのご活躍を、学校長として心より祈念しています。

実現したい 未来に向けて

暁中学校・
高等学校(6年制)
校長

百中 迪彦

MOMONAKA Michihiko



ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、中学からの自分探しの旅を皮切りに、将来どんな職業に就きたいかを念頭に置いて大学・学部選びを続けてきたものと思います。

昨今は、グローバル化や急速なデジタル技術の進展、感染症の流行や自然災害、戦争など予測不能な変化が生起する事態となっており、近い将来に希望職種がなくなってしまうか

ねない先行き不透明な社会が現出されようとしています。

このような社会を生き抜いていくためには、頭の中で、氾濫する情報を分類・分析し、その正誤を考察していく姿勢と共に、AIでもできる課題解決よりも課題を発掘する力が求められます。端的に言えば、思考や想像ができる人間の方が選択の幅が広がるということになります。

例えば、本校での英語集中講座のような慣れない環境の中に身を置いて、思い通りにいかない経験を積むことによって、自分に不足しているものに気がつき、「できないことをできるようにするためにはどうすればいいのか」を、自ら調べ自ら考えることを通して、自分にしかできない能力を高めていくことが望まれます。常に新しい経験をして、自分をアップデートしていけば、色々な変化にも対処できる術を身に付けられるかと思えます。

先が読めない21世紀を、あなたらしく生き生きと過ごせる生活ができるように願っています。

どんな時でも 希望を持って

暁小学校
校長

相馬 哲

SOMA Akira



ご卒業おめでとうございます。

6年間の思い出が詰まったこの校舎ともいよいよお別れですね。みなさんはこの6年間で、心も体も大きく成長しました。この自分の成長を心から喜んでください。そして、ご家族や多くの先生方に見守られて今があることを

決して忘れないでください。

コロナ禍でいろいろなことが制限される中、みなさんは最高学年として、様々な場面で暁小学校の「顔」として立派にその役割を果たしてくれました。本当によく頑張りました。ありがとう。

みなさんは、数々の思い出を胸にこの学び舎を巣立っていきます。この学び舎で学んだことに誇りを持って中学校へ進み、一步一步しっかりと歩いてください。時には苦しいことや嫌になって投げ出してしまいたいことがあるかもしれません。しかし、どんなときでも希望を持ち続け、諦めることなく歩いてほしいと思います。その向こうに、きっと素晴らしいことが待っていますから。

みなさんは、みな輝く星なのです。個性を大切に、自らの力で未来を切り開いてってください。みなさんの未来が輝かしいものになることを心から願っています。

しあわせの たねをまこう

暁幼稚園
園長

近藤 まり

KONDO Mari



らいおん組のみなさん、ご卒園おめでとうございます。

みなさんは、今まで、暁幼稚園の大きいお兄さんやお姉さんとして、小さい組さんのお世話をいっぱいしてきてくれました。みんなとっても喜んでいました。みなさんのおかげで、暁幼稚園のお友達も先生もみんな、とっても気持ちよく

過ごすことができました。ありがとうございます。

みなさんは、これから小学校へ入学して、新しい友達と出会ったり、今まで知らなかったことをはじめて体験したりすることだと思います。とても心配になることもあるかもしれませんが、どんな時でも笑顔を忘れずに、前へ進んでください。そして、みなさんを応援してくれる家族や友達を大切にしてください。人に優しくすれば自分も優しくしてもらえます。人の気持ちに寄り添えば自分の気持ちもしっかりと受け止めてもらえるでしょう。でも、人に冷たく自分勝手なことをしていると自分にも同じようなことが返ってくるかもしれません。誰もが気持ちよく過ごすことができるような「しあわせのたね」を、みなさんからたくさんの人たちにまいてあげてください。はじめは、少し勇気がいるかもしれませんが、いつかみなさんの周りに、きれいな幸せのお花畑がたくさんできることを願っています。

～暁の原点とミライをつなぐ旅～

暁中学校 <1976年～1984年実施>

「5泊6日 夏の合宿セミナー 於 志賀高原」

本年、暁中学校は開校75周年を迎えますが、6年制発足以前の中学校では、1970年代後半から、中3全員参加の「夏の合宿セミナー」を7月下旬に志賀高原で実施していました。毎日10時間の勉強、ハイキング、スケッチ、合唱、キャンプファイヤーと企画満載のセミナーをリードしていたのは、当時の校長、澤井先生です。合宿の記録誌で澤井先生が綴った序文を、前号に引き続き紹介します。

昭和54年(1979年)

暁中学校長 澤井 尚平先生

「感動をよぶ愛の教育—合宿セミナーの実践—序」

教育の根本は愛なりとは、余りにもわかりきった理であり、教育の一切ですらあるように思います。教育における「愛」の課題は、まことに大きな問題であります。その課題の前には無惨にも崩れていく自分の不真面目さをなげき、それを求め、追わんとして苦しみ、悩み、無力さに限りない呵責の念を覚えます。(中略)

合宿セミナーも4年目をむかえましたが、そのねらいとするところは多くあります。しかし、「生徒と共に遊びたわむれることの出来る人のみが教育する権利がある。」ということばのとおり、共に旅行し、共に歌って、共に遊んで、共に学んで、共に食って、共に寝て、…ここに教育の妙諦があるように思います。いい教育が出来るのも出来ないのも、その原動力はやはり愛です。

合宿セミナーでは、学習面で習ったこと訓練されたことが身につくように実行実践の行動が大切です。教師は生徒の次元の低い欲求に即応してはならないし、気ままな行動に対して傍観者であってはならない。欲求そのものの質を高め、低次元の心情やわがままを自らコントロールできる人間に育てることが重要であります。かつては都会っ子、過保護家庭の欠陥といわれ、耐えて歩くことを失ったひ弱な生徒は、今では全国的な傾向になっている。強く鍛える指導「鍛錬」することは、教師の大きな責任でもあると思います。

今日の教育をかえりみますと、当面の教育目標には、親も教師も熱心であるが、人間の生き方や心の問題に余り配慮されていない。それが受験体制、学歴社会の弊害であり、高度経済成長のひずみであるとして片づけるのはたやすいが、現在学校に学び、その影響をうけて育っている子供たちの教育にたざさわる教師の回答にはならない。合宿セミナーでは、人生とは、友情とは、奉仕とは、愛とは、自由とは、規律とはなにか。人間としての生き方を考えさせ、努力することの大切さを生徒に求めることは可能である。人間としてどうあるべきかを、私たちは生き続ける限り追い求めなければならない。

暁学園綱領「人間たれ」はむしろ人間が生きていくうえで永遠に追い求めるべきものであり、求めれば求める程遠くに去り、求める人間に深まりと広がりを与えてくれます。



澤井 尚平先生

「人を愛し、学問を愛し、美を愛する豊かな人間」は、1983年の中高発足時に、「人間たれ」を具現化しようと当時の学園教員集団が提起した教育理念です。澤井先生が提唱した教育信念がここに脈々と受け継がれています。

教育振興未来みはるかす募金

<第1期>結果集計と使途のご報告

学園では、皆様の期待に応える教育と教育環境の提供に努めておりますが、昨今の厳しい社会情勢の下、令和3年度の学園創立75周年を機に、新たに「教育振興未来みはるかす募金」(以下「みはるかす募金」)を恒久的に創設し、年度ごとに募金の募集を行っております。

この募金は各校園の教育研究活動の充実や教育環境の維持・向上への活用を趣旨目的としているもので、おかげさまで多くの皆様にその趣旨にご賛同いただき、昨年度の第1期には、学園の大学から幼稚園に多くの貴重なお志をいただきました。以下が、その集計報告です。

集計結果

「教育振興未来みはるかす募金」第1期(募集期間:令和3年5月~令和4年3月)

四日市大学	1,983,580円
四日市看護医療大学	1,398,660円
暁高等学校	4,212,935円
暁中学校・高等学校	5,382,819円
暁小学校	2,520,993円
暁幼稚園	1,418,261円
合計	16,917,248円

使途について

みはるかす募金の使途については、できるだけ多くの在校生が恩恵を受け、教育環境全体が向上する活用となるように慎重に検討しております。現時点での検討内容は以下の通りです。

使途目的(予定)

四日市大学	図書館棟 外壁塗り替えによるキャンパス環境の向上
高等学校(3年制)	タブレット端末保管用 鍵付きロッカーの購入
中学校・高等学校(6年制)	可動式机・椅子の購入による探求型授業の積極展開
小学校	新たな校庭遊具の購入による教育環境の向上
幼稚園	園庭遊具の整備による教育環境の向上
四日市看護医療大学	検討中

<第2期>および<第3期>ご協力へのお願い

現在、第2期<令和4年4月~令和5年3月>の、みはるかす募金を募集しております。

税金優遇措置もございます。HPの「ご支援のお願い」をご参考の上、ご協力の程、宜しく願い申し上げます。また令和5年度4月からは第3期のみはるかす募金が始まります。引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

学園の取り組み

暁中学校で来年度入学生から 三重県初の英語授業を開始します!

暁中学校では、来年度から三重県初、東海地方においても極めて先進的な英語授業を展開します。新年度入学する1年生全員の英語の授業で、海外で広く使用されているテキスト教材、「Uncover」<ケンブリッジ大学出版>を採用します。

今後必須となるグローバルなコミュニケーション言語としての英語運用力の強化を図るために、海外で高い評価を得て広く使用されているケンブリッジ大学出版の教材で英語の授業を進めます。

英語が得意な生徒、海外在住経験のある生徒にとっても、手ごたえのある教材、授業となることも採用の大きな理由です。

英語力向上を目指す人、新たなテキスト教材に関心がある方は、是非公式サイトでテキストサンプルをご覧ください。

英語教材 Uncover について

概要 世界中で撮影された魅力的なDiscovery Education™のビデオを通して、教室にいながら世界の文化や生活について学べる中高生向けの教材です。自分を表現する力を着実に身につけます。

特徴

- ・美しい映像だけでなくレベルに合わせて吹き替えられたナレーションを収録。
- ・ケンブリッジ大学英語検定 (Key [KET], Preliminary [PET]) の準備教材としても最適。
- ・Online WorkbookでICTを活用、先生や学校でオンラインによる学習者の学習進捗状況や成績などの一元管理が可能。

(ケンブリッジ大学出版の公式サイトより抜粋)
<https://cambridge-university-press.jp/material/uncover/>





3年ぶりに「サンタ電車」が走りました ～三岐鉄道北勢線～

12月17日(土)の午前10時半、三岐鉄道北勢線東員駅には、黒山の人だかりができていました。人だかりの中には沿線自治体のマスコットキャラクターが勢ぞろいし、四日市大学吹奏楽団がクリスマスソングで雰囲気を盛り上げるなか、3年ぶりに「サンタ電車」が走りました。

将来の「お客様」になる子どもたちに、電車に乗る楽しさを体験してもらおうというこのイベントは、コロナ禍による中断を挟んで、今年で11回目。今年の延べ乗車人員は、過去最高の2,100人に達しました。

3年ぶりのサンタ電車の運行終了後、東員駅で保護者の方が会いたいとのことでお伺いすると、なんと感謝状をいただくという、うれしいサプライズが。

関係者の方々のご協力を得て、サンタ電車を続けて来てこられたこと、そして、今回、再開できたこと、本当によかったなあと胸が熱くなりました。こちらこそ、今回も乗ってくれてありがとう!!



第19回 四日市大学 留学生日本語弁論大会開催

12月24日(土)、本学において「第19回四日市大学留学生日本語弁論大会」が開催されました。これは、国際交流と留学生の日本語能力向上を目的に本学が主催し、四日市市、四日市北ロータリークラブ、国際ソロブチミスト三重-北様のご後援をいただき毎年開催しているものです。

当日は、学内の予選を通過した本学学生7名に加え、三重大学、鈴鹿大学からも一人ずつ出場し、留学生活で感じたことや家族のこと、社会問題など、身振り手振りを交えながらスピーチしました。

最高賞となる四日市大学学長賞は、「日本の少子高齢化をどう解決するのか」をテーマにスピーチした本学総合政策学部総合政策学科1年生、中国出身のリユウ キンさんが受賞しました。





学友会主催の キッチンカーイベント

学友会では12月12日(月)と15日(木)に、学生や教員の方々がこのコロナ禍で少しでも楽しめるよう、キッチンカーを招待するミニイベントを行いました。12日はカステラ・ブルーシールアイス、15日は唐揚げにポテトなどの食べ物が販売されており、寒い中ではありましたが、多くの学生が列を作りキッチンカーを楽しんでくれました。

このイベントは、売り切れてしまった商品が出たほどの好評で、「また、キッチンカーを呼んで欲しい」という声もあり、開催して良かったと思えるイベントとなりました。次回は学生からの意見も取り入れ、さらに喜んでもらえるイベントにしたいです。



普通救命講習を開催

急病人が発生した場合、一般的には心臓停止3分後の死亡率は約50%となっています。四日市市では救急車が現場に到着するまで6分弱かかりますが、救急現場に居合わせた人(バイスタンダー)によって応急手当が行われることで救命率の向上が期待されます。

そこで、学生の応急手当に関する意識向上とスキルの獲得を目的として、12月17日(土)に普通救命講習を開催し、学生20名が受講しました。四日市市北消防署北部分署の救急救命士の説明を真剣な表情で聴き、熱心に実技に取り組みました。講習修了後には、全員が修了証を取得でき、倒れている人をすぐに助けるという救命意識が高まる良い機会となりました。





「3年生0学期 進路講演会」 「短大・専門学校相談会」を実施

1月の共通テストまであと32日となった12月13日(火)、進路指導部主催で進学講演会が実施されました。高校2年生の3学期を進学希望実現のための「3年生0学期」と位置づけ、受験への意識を高める目的で、12月の期末テスト後に進路講演会を実施しています。今年のテーマは「志望校合格に向けて2年生の今からすべきこと」でした。現2年生が共通テストを受験するのは、令和6年1月13日・14日、ちょうど1年と1か月後で、受験の始まりを具体的に意識するいい機会となったことと思います。

また、この日は同時に、短大・専門学校等への進学を希望する2年生のための、個別ブースを設置した相談会も実施しました。助産師や歯科衛生士、自動車整備士、美容師など、資格取得を伴う仕事が人気でした。何か手に職をつけたいという、熱いまなざしが感じられました。



暁中学校・高等学校 (6年制)

金融経済クイズ選手権 「エコノミクス甲子園」 県大会入賞

12月18日(日)に開催された「エコノミクス甲子園三重大会」に本校から4年生チームと5年生チームの2チームが出場し、YouTubeライブやZoomなどで全国の仲間たちの顔を見ながら、これまで学んだ金融や経済の知識を真剣勝負で競い合いました。その結果、5年生チームの森結誠・金城新平(「ゆうぺいチーム」)の2名が見事3位入賞を果たしました。

1月13日(金)放課後、主催された百五銀行経営企画部広報SDGs推進室の方々が来校され、学校長臨席のもと表彰式が執り行われました。僅差で優勝には手が届きませんでした。3位入賞は本当に立派でした。来年度は金融や経済に興味のある生徒を多く募り、悲願の優勝を勝ち取り、三重県代表として全国大会への出場を狙いたいです。



伝統の毛筆競書大会

1月11日(水)に令和4年度の校内毛筆競書大会が行われました。この大会は開学当初から行われている暁小学校伝統の行事です。暁小学校では1年生から6年生まで週1回、習字の授業が行われており、指導は習字専門の先生が担当しています。大会の課題は12月中に児童に知らされ、授業で練習しながらうまく書くための注意点等について学習します。冬休みの中の宿題として、課題の練習も出されます。

児童にとってこの大会は1年間の練習の成果を発揮する場となっており、当日は、どの児童もいつもの授業時以上に集中して筆を走らせる姿が見られました。クラス代表に選ばれた作品は「三泗小中学校書写展」に出品されます。



暁幼稚園



「どんなわたしも大好き」 こころのサインにふたをしないで…

12月21日(水)に、四日市人権擁護委員協議会の上野会長をはじめ4名の方々にお越しいただき、年長組の子どもたちと一緒に活動をしていただきました。まず、「幸せなら手をたたこ

う」の歌でアイスブレイキング。それから、ペープサートで話を聞いたり、クイズをしたり、笑う、泣く、怒るなどいろいろな表情をした顔がついているサイコロを振って、自分たちの気持ちを出し合ったりしました。上野さんから、「気持ちは温度計のように変わっていく。気持ちは、皆さんの心の中で何が起きているか伝えるサイン。感じてはいけない気持ちは一つもない。自分の気持ちにふたをしないで大切にしてください」「ただ、自分の気持ちと同じくらい、友だちの気持ちも大切に感じられると嬉しいです」という話もしていただき、最後に「どんなわたしも、みんなも大好き」という歌をうたいました。短い時間でしたが、とても温かい穏やかな気持ちになりました。

上野さんからのメッセージは、まさに暁学園の学園綱領「人間たれ」そのものと感じました。



式典のお知らせ

卒業式・卒園式

校種	日時	場所
四日市大学	3月16日(木) 13:30～	都ホテル四日市
四日市看護医療大学	3月11日(土) 10:00～	都ホテル四日市
暁高等学校(3年制)	2月28日(火) 10:00～	高校体育館
暁高等学校(6年制)	3月1日(水) 10:00～	中高体育館
暁中学校	3月20日(月) 9:00～	中高体育館
暁小学校	3月10日(金) 10:00～	暁小学校体育館
暁幼稚園	3月18日(土) 10:00～	暁幼稚園ホール

入学式・入園式

校種	日時	場所
四日市大学	4月4日(火) 13:30～	四日市市文化会館
四日市看護医療大学	4月2日(日) 10:00～	四日市大学3号館
暁高等学校(3年制)	4月10日(月) 10:00～	高校体育館
暁高等学校(6年制)	4月7日(金) 10:00～	中高体育館
暁中学校	4月7日(金) 13:30～	中高体育館
暁小学校	4月6日(木) 10:00～	暁小学校体育館
暁幼稚園	4月11日(火) 10:00～	暁幼稚園ホール

